

おはようございます。

校舎周辺の、満開となった桜が咲き誇る中、進級した皆さんと、元気で再会できましたことを、うれしく思っています。

お盆がある夏休みや、お正月がある冬休みとは違い、休むことなく研究活動、オンラインの取組、部活動、後の伝達表彰にもありますが、全国選抜等に出場・活躍した皆さんも複数居ました。

その例として、石川県で開催された第三十九回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会にて、三人の選手が入賞しましたが、中でも 辰巳 航大さんは、Tota1で大会新記録一位、男子最優秀選手となり、素晴らしい成果を収めています。大変うれしく、光栄に思います。

年度の初めにあたり、二点お話しします。

一点目は、皆さんは、「二期一会」という言葉を知っているでしょうか？

これは、皆さんが、伝統文化事業で体験した「茶道」に由来する言葉で、「二期」とは一生という意味。「一会」とは、一度の出会いという意味で、あわせて「あなたとこうして会っているこの時間は二度と巡ってはこない一度限りの大切な時間である。このため、この一瞬を大切に思い、今できる最高のおもてなしをしよう。」という意味があります。

この言葉は、二度とは会えない人との大切な今の時間を意識して、人と接することが大切であるということ、私たちに教えてもいます。

地球上には八十億人を越える人が暮らしていますが、皆さんは今、同じ学校、学年、クラスの間として偶然出会い、一緒に学習や生活をしています。実は、奇跡的な出会いであります。

残念ながら、昨年度、クラスメイトなど、人同士の些細な理由からの「いさかい」のようなことから、生徒指導に至ってしまった例もありました。

これからも、長い人生の中で、皆さんは、さまざまな人と出会うこととなります。そのときそのときに出会うであろう人たちとの縁を大切に過ごしてください。人を大切にすることは、自分も大切にされることに繋がります。二年生は新しいクラスにもなりました。お互いに相手を尊重し、思いやりの気持ちを持って接するよう心がけてください。

また、明日一年生が入学します。部活動や寮、一部ですが下宿などでも、優しい相談相手になってあげてください。そのことは、自分の人間性や社会性、コミュニケーション力を成長させることにもつながります。

二点目 京セラ、KDDIを創業された稲盛 和夫様を知っているでしょうか。先日、お亡くなりになりましたが、稲盛さんは、「人生の方程式」という考え方を残されました。それは、「人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力」であるというものです。私自身も大変共感し、大切に行っている考え方です。

即ち、能力があっても、また熱意があっても、考え方がマイナスであれば、人生は成功しない。という解釈ができます。

逆に、能力が足りない場合であったとしても、熱意と前向きな考え方、いわゆるプラス思考があれば、マイナス思考の人に勝る。ということ、皆さんも、何事にもプラス思考で臨むようにしてください。

本日から、令和六年度が始まりました。

いよいよ二年生は、所属する各学科・コースでの本格的な授業や実習が始まり、三年生は進路の取組が本格化し、この一学期の成績が、調査書の値となります。二・三年生ともに、上級生としての立場にもなります。年度が終わる来年三月には、「こんな成果があった。」

「こんな資格が取れた。」「部活動の試合で入賞」「こんな論文が書けた」など、具体的な成果が出せるよう、お互いがプラス思考で、切磋琢磨できましたら幸いです。皆さん、それぞれが、活躍してもらえることを期待しています。

以上で私からの話は終わります。

令和六年四月八日

京都府立海洋高等学校

校長

上林 秋男